SMF Press vol.42 Jan. 2020

SMF連携館事業

中村桜作品展〈陶〉『楽しいクリスマス』

川越「三番町ギャラリー」

令和はじめての年の瀬12月14日の夕方に、川越「三番町ギャラリー」で開催されている「中村桜作品展〈陶〉『楽しいクリスマス』」を観に行ってきました。

会場に入って最初に目に飛び込んでくるのは、中央に配された白い器たちです。年季の入った机に並べられた器は、さながらヨーロッパの遺跡や教会を連想させる質感をたたえています。少し乾いた印象のインスタレーションとなっていますが、近づいてみると、ところどころに赤土色が残っていて不思議な温もりが伝わってきます。

一方壁面に目を移すと、陶で作られたリースにキツネが遊んでいたり、ケーキや果物を描いた陶板が飾ってあったりするなど、観れば観るほど発見のある楽しい展示となっていました。

また会場入口付近には10月27日に川越市立美術館で実施されたワークショップ「はじめての陶芸・粘土で器をつくろう！（SMF連携館事業）」の参加者作品が展示してありました。たたら板とのし棒で伸ばした粘土に様々なスタンプで柄を描いて作られた「アイスクリームボウル」や「ケーキ皿」は何れも実用性と可愛らしさを兼ね備えていて、とてもはじめてとは思えないでき栄えでした。作品は随時参加者が持ち帰ってしまうので、少し少なくなっていたようですが、こちらも観ていて飽きのこないものばかりでした。

作者の中村桜さんは、大学で英文学を専攻しアイルランドに留学するなど、ヨーロッパのエッセンスを十二分に吸収した後に茶陶家の飛鳥井土耕氏に師事、陶芸を始められました。2000年からは武州土耕窯（埼玉県日高市）に勤務、講師として陶芸指導に携わった後2007年に独立。現在は陶芸教室の講師を続けながら埼玉県や都内でクラフトイベントに参加するとともに展覧会活動も展開されているということで、地に足の着いた素朴な魅力を味わうことができました。

会期の終盤に伺ったため、お買い上げいただいた作品も多く（私もカップを2つ購入しました）少し余白が多い感じもありましたが、心が温かくなるひと時を過ごすことができました。

Information

SMF連携館事業

やべみつのりさんと工作ワークショップ
「光と色のふしぎあそび」

2020年3月8日(日) 13:00~16:00
入間市博物館 体験学習室

講　師：やべみつのり（絵本作家、紙芝居作家、造形作家）
※「カラテカ」矢部太郎の父
対　象：幼児～小学生 ※小3以下は保護者同伴
申込み：2月7日（金）午前9時から電話にて
参加費：500円（当日集めます）　定員：先着20名
主　催：入間市博物館／SMF

執筆：石上城行
編集：SMF広報委員会　発行：Saitama Muse Forum
〒330-0061　埼玉県さいたま市浦和区常盤9-30-1　埼玉県立近代美術館内
問い合わせ：SMF.info@artplatform.jp

SMFは身近な場所でアートを享受し支援し
再創造するプラットフォームをめざしています。
http://www.artplatform.jp
https://www.facebook.com/Saitama.Muse.Forum/